

## 第1学年 学級活動指学習導案

- 1 単元名 さわやかな「自己表現」のために  
—アサーショントレーニング—
- 2 本時 第5校時 教室
- 3 本時の目標  
○ 自分の思いや体験を互いに発表しあうことで、お互いの理解が深まりあうと同時に、自らの思いを広げる契機とする。
- 4 本時指導の考え方  
○ 自己表現の仕方を学んだ上で、自分のありのままの姿を受け入れること(自己受容)を促し、それを言葉で表現するアサーショントレーニングのエクササイズを試みる。すごろくトークは楽しい雰囲気の中で自分自身の思いや体験を語ることができ、それによって自他理解が深まる効果的なエクササイズである。  
事前に自己表現の仕方に着目させることによって、話し手も聞き手も自己意識が高まり、より主張的でより受容的な雰囲気を作り出すことができる。
- 5 準備 すごろくシート(各班1枚)、サイコロ(各班1個)、自己表現の説明シート、友人からの感想シート、振り返り用紙
- 6 本時の展開

配時	学習活動・内容	指導上の留意点	集団づくりを生かす手だて	評価規準 <評価の方法>
1	1 本時の学習活動を 確認する。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">めあて 他の意見を聞くこと で、自分の視野 を広げる</div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 正対して聞かせる。</li> </ul>		
6	2 ウォーミングアップ ・自己表現のタイプ を再確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自己表現の仕方を3つ示し自己表現のよりよいタイプを考えさせる。</li> </ul>		
4	3 インストラクション を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ルールの説明と聞き手の約束事を指示する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 話す・聞く、両方の態度の大切さを確認させる。</li> <li>● 相手を認められた上で自分自身と比較しながらコメントを返したり、さ質問したりさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 活動に意欲的に取り組んでいる。 &lt;様相チェック&gt;</li> </ul>
20	4 エクササイズ 「アサーションす ごろく」をする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 話すときやコメントを返すときには、「しずかちゃんタイプ」を心がけるように指示する。</li> <li>● どうしても話したくない項目については無理をせず「それについては今は話せないのでごめんなさい」と伝えることを指示する。</li> </ul>		
8	5 ワークシートに 感想を記入する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自由な感想を記入するように指示する。</li> <li>● 新たな発見や気づきなどを素直にかつ自由に書くように指示する。</li> </ul>		
6	6 エクササイズで 感じたことや気づ いたことを自由に 発表し合い、共有 する。 (シェアリング)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 素直な気持ちで発表するように指示する。</li> </ul>		
2	7 振り返り用紙に 記入する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 素直な気持ちで記入するように指示する。</li> </ul>		
3	8 まとめを行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 正対して聞かせる。</li> </ul>		